



高原の自然館ニュースレター

# 苅尾電波塔

第 68 号

2009.9.1

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。  
一般には臥龍山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」  
の名前をつけています。

## も く じ

### お知らせ

- ー 観察会の日程変更について
- ー 第 8 回全国草原サミット・シンポジウムが開催されます

### 活動報告

- ー 可愛川の水生生物観察会
- ー カワシンジュガイの観察会

### 観察会案内

- ー 霧ヶ谷の観察会 秋のいきもの観察会
- ー 霧ヶ谷湿原の植生モニタリング 秋

## お し ら せ

### ● 観察会の日程変更について

キノコ観察会について以下のように決定しましたのでお知らせします。

日時：10月24日（土）  
集合時間：9:30  
集合場所：二川キャンプ場  
講師：川上嘉章  
※午前中で終了予定

### ● 第 8 回全国草原サミット・シンポジウムが開催されます

2009年9月26日（土）～28日（月）に北広島町芸北で開催されます。芸北地域の草原を見学するエクスカージョンや、兵庫県豊岡市長による基調講演、各地からの事例発表や分科会が行われるシンポジウム、そして草原を有する自治体によるサミットが予定されています。お問い合わせ・お申し込みなどは下記までお願いします。

北広島町役場 企画課 地域振興係  
〒731-1595 広島県山県郡北広島町有田 1234  
TEL 0826-72-0856 FAX 0826-72-5242  
mailto:sogen@town.kitahiroshima.lg.jp

全国草原再生ネットワーク  
<http://sogen-net.jp/>

## 観 察 会 報 告

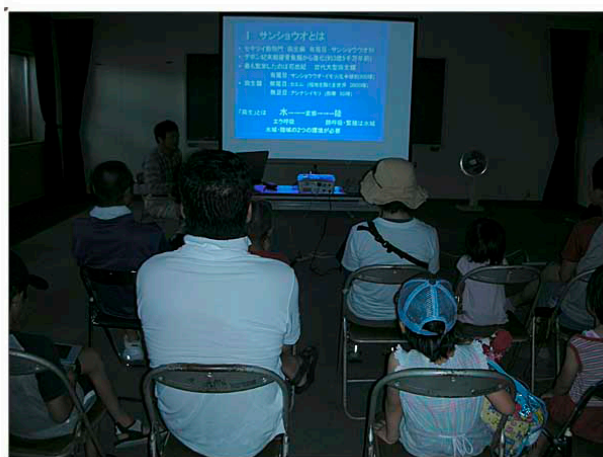
### ●可愛川の水生生物観察会

開催日時:2009年8月8日(土)13:30

講師:内藤順一

長かった梅雨が明け、久しぶりとなる晴天のもと、観察会が行われました。千代田中央公民館には27名の参加者が集合し、今回の講師である内藤先生より、スライドをみながらオオサンショウウオの生態のお話を聞きました。広島県には5種類のサンショウウオが生息していること、オオサンショウウオは国の特別天然記念物に指定されていること、オオサンショウウオがどんなものを食べているのかなどを写真を交えてお話してください、とても興味深く聞くことができました。参加者からも質問が飛びだし、現地でオオサンショウウオに会うのがさらに楽しみになりました。30分ほどお話を聞いた後、観察する場所へと移動しました。7月後半の長雨の影響でしょうか。例年よりも川は水量が多く、オオサンショウウオを観察するにはよい環境でした。気温が高いうえに日差しも強く、子どもたちはもちろん大人も川の水の冷たさが気持ちよく、ざぶざぶと川に入りました。内藤先生のアートについて川の右岸のツルヨシのしげみを探ると、次々とオオサンショウウオが出てきて、計6個体捕獲することができました。網に入れ、岸に戻って観察と個体識別のチェックをしました。子ども達はおそろおそろオオサンショウウオをのぞき込み、つぶらな目や可愛い手を見つめていました。参加者からは「こんなに大きいと思わなかった」「たくさんの個体を間近に見ることができて嬉しい」という声があがりました。いつまでも観察してたかったのですが、調査に必要なチェックをしたあとは、もとの場所に戻しました。オオサンショウウオの捕獲と同時に、子ども達は箱メガネや網を使って、他の生き物も捕まえていました。内藤先生に見ていただくと、ムギツクとイトモロコという魚、そしてマシジミという小さな貝だということがわかりました。可愛川の環境のお話を聞くとオオサンショウウオにとってよい生息地のように感じましたが、内藤先生の調査からは、この場所ではオオサンショウウオの産卵は確認されていないそうです。いつまでもオオサンショウウオの姿を見ることが出来る川であっ

てほしいと願いながら、観察会を終了しました。[このやよい]



子供達も興味津々でスライドを見つめる。



オオサンショウウオを探しに出発!



結構重たいオオサンショウウオ.



食用にもなるマシジミ.



ちょっと狭そうなオオサンショウウオたち.



入念な個体チェックを行った.

### 【みなさんの印象に残った物】

「オオサンショウウオとトンボ」「サンショウウオを捕獲できてうれしかったです (2)」「オオサンショウウオ (8)」「多くのオオサンショウウオが観察出来たこと (2)」「オオサンショウウオの足の裏のザラザラ」「オオサンショウウオの顔をまじかで見えたこと. 意外にかわいい顔をしていると思いました.」「オオサンショウウオの脱皮」

### 【参加したみなさんの感想 (抜粋)】

「また行きたいです」「見ることでよかったです」「思ったよりもたくさん生息していることに驚きました」「水遊びが楽しかった」「寒かった」「楽しかった」「水量が多くておもしろかったです. 3匹もオオサンショウウオが見れて良かったです.」「今日の観察会は水が多くて大きな水の音を聞きながら, 大変子供達が生き生きと遊ぶ様子が良かったです」「オオサンショウウオの事がよくわかりました」「短時間でたくさん取れたのには驚きました」「暑かったけど, ゆっくり見ることができた」「水が多くて少し子供達には水遊びが大変だった」「オオサンショウウオを見れた事」「いい勉強になりました」「サンショウウオをまじかで見れてよかったです」「重くて感動しました. 食べて見たかった」

# 観 察 会 報 告

## ●カワシンジュガイの観察会

開催日時:2009年8月9日(日)9:30

講師:内藤順一

前日の観察会でオオサンショウウオに人気を取られたのか、参加者8名での観察会となりました。雲行きの怪しい日でしたが、大雨にならないかぎり観察会は決行です。前日に続き、講師は内藤先生です。現地に出発する前に、芸北文化ホールでカワシンジュガイの生態や生息環境についてのお話を聞きました。カワシンジュガイの幼生は、アブラボテに寄生して子孫を増やすと考えられていましたが、カワシンジュガイの個体が確認されている北海道にアブラボテは生息していませんでした。そこで研究を進めていくと、アマゴに寄生することがわかったようで、その研究過程が面白いと感じました。アマゴの採取によるカワシンジュガイの宿主の減少や、シンジュガイ人気による過剰な採取という人間の都合による理由から、絶滅の危機になっているというお話を聞き、保護の重要性が分かりました。先生からのお話が終わると、車で現地へ移動しました。またひろネットの方が取材される中、観察もはじまりましたが、みなさんカメラを気にせずジャブジャブと川に入り、カワシンジュガイを探しはじめました。数個のカワシンジュガイを見つけましたが、死骸も多くありました。なんとか長生きしてほしいものです。泳いでいる魚の中にアブラボテがいました。二枚貝に卵を生み付ける彼らも、カワシンジュガイなどの二枚貝の減少により絶滅の危機にあります。一つのいきものを守る事は、他のいきものを生かす事にも繋がることを実感しました。一度手を加えてしまった環境をもとに戻すのは難しく、今の環境を維持するのも難しいのかもしれない。芸北に生息するカワシンジュガイを守っていくためにも、多くの人達に現状を知ってもらいたいと思います。[しんぽゆうすけ]



出発前に事前学習をした。



新種のコガタカワシンジュガイ。



目的地へ到着した。



汚れを気にせず探索開始！



カワシンジュガイを発見。「大きい！！」



「何処にいるかな～？」



潜ってしまうような勢いの子どもたち。



多数のアブラボテが潜んでいた。

#### 【みなさんの印象に残った物】

「実物」「カワシンジュガイの実物を見れたこと」「太古の生物に感動しました」「カワシンジュガイ」「100年も生きてるのはびっくり。アマゴとの関係を聞いてびっくり」

#### 【参加したみなさんの感想（抜粋）】

「内藤先生の長い取り組みの話が聞けて良かった」「魚類と貝類の片利共生等、カワシンジュガイだけではなく、河川の生態系について勉強でき、ためになりました」「雨天で子供が少なく寂しかった」「自然はすばらしい」

## 観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

**基本セット**：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳

**作業セット**：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

### ● 霧ヶ谷の観察会 秋のいきもの観察会

開催日時：2009年9月12日(土) 9:30

集合場所：高原の自然館

講師：岩見潤治・和田秀次

準備：基本セット

定員数：30名

参加費：一般=300円

賛助会員=100円

正会員・中学生以下=無料

自然再生事業の工事が進む霧ヶ谷湿原では、夏の観察会で湿性の植物・昆虫が確認されました。秋の霧ヶ谷湿原ではどんないきものたちの姿が見られるのでしょうか。湿原を間近で見ることのできるチャンスです。長靴をはいてお越しください。

### ● 霧ヶ谷湿原の植生モニタリング 秋

開催日時：2009年9月13日(日) 9:30

集合場所：高原の自然館

講師：小宮啓吾・佐久間智子

準備：作業セット

定員数：30名

参加費：無料

夏に続き、霧ヶ谷湿原の植生を調査します。再生事業によってどのように植生が変化しているのかを調べます。観察会とはまた違った視点で植物をみることができますよ。初めての方もお気軽にお越し下さい。

### ● 2009年度のイベント計画について

2009年度のイベント計画をお知らせします。なお、日程は変更になる場合がありますので、毎回の苅尾電波塔にご注意ください。

2009年

10月10日 サツキマスの観察会

24日 キノコ観察会

11月7日 ゴギの産卵観察会

紅葉と冬芽の観察会

5日 八幡高原の野鳥の観察会

12月 未定 かんじき作り

2010年

1月16日 冬を生きる動物たちの生態

2月21日 雪原のトレッキング

3月6日 早春のトレッキング



9月がやってきました。八幡地区ではイベント満載の月です。聖湖マラソン大会に始まり、敬老会、運動会と続きます。それが終わると、稲刈りです。今年はさらに全国草原サミット・シンポジウムも茨北で開催されます。めまぐるしく日が過ぎていきますが、ふとした時に、野の花が咲いているのに気づいたり、さわやかな風を感じたりすると、ほっとします。自然の中で暮らすのはいいなあと思うのは、こんな時です。(この)

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先  
(ご意見・ご感想もお待ちしています)

高原の自然館 (こうげんのしぜんかん)

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原 119-1

tel. & fax : 0826-36-2008

<http://shizenkan.info/>

[staff@shizenkan.info](mailto:staff@shizenkan.info)